

環境問題についての探究学習

～グループで情報整理・共有し、発表する～

2年 保健

「社会生活と健康」

ねらい

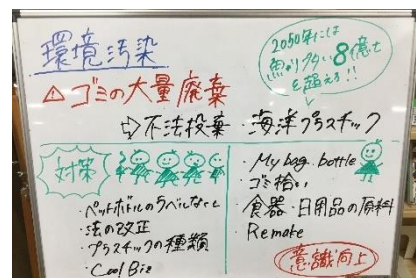
- 自然環境を維持するための社会の制度や個人の活動について、資料をもとに探究する。
- 探究的な学習を通じて、思考力・表現力の醸成や、情報活用能力の育成をはかる。

学習展開

- ①担当教員が、学習のねらいや授業の計画について説明。司書から、資料の探し方や参考文献の書き方について、ガイダンスを行う。
- ②5つのテーマごとに3～5人のグループになり、各テーマについて4分割シートを用いながら調べる。調べたことを付せん・参考文献リストに記入する。
- ③グループの中で、調べたことを説明し、情報の共有と整理を行う。
- ④グループで発表内容の準備をする。役割分担を確認し、発表の練習をする。（全員が発表する）
- ⑤各グループごとに発表（4～5分）。他の生徒はルーブリック評価表をもとに評価する。



グループごとの発表の様子



発表のために作成したボードの例

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、担当教員と内容・時間数等を事前に相談し、必要な資料を準備する。
- 学校司書は、資料の探し方や参考文献の書き方などについてガイダンスを実施する。
- 学校司書は、教科担当教員と発表方法や評価方法などについて相談し、記録や進行を補助する。
- 学校司書は、生徒の個々のレファレンスや ICT 機器の操作支援に対応し、授業を支援する。

★指導のポイント

- ◆ 知識を習得することで、今後の問題解決の糸口となったり行動の変容につながるよう促す。
- ◆ 今後の探究活動につなげるために、参考文献の記入を意識づける。
- ◆ グループ発表は、聞き手を意識したわかりやすい発表となるように指導する。

資料

5つのテーマ「大気に関する環境問題」「水質汚濁・土壌汚染の問題」「環境汚染の防止」「ごみ問題と循環型社会」「食の安全と環境問題」に合わせて、県立図書館を中心に約250冊の資料を準備。